

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
Communication 英語 III	3	3年1類 全型	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
	Big Dipper Communication English III (数研出版)		ユメタンI (大学合格必須レベル) プリント

《 科目の到達目標 》

TSEEGs の *English for "The World"* 発展 (英検2級以上) 段階の定着。

Communication 英語IIIでは英語4技能の内、Reading と Listening を重点的に扱う。

Reading: 社会性の高い分野の文章を理解することができる。

Listening: 社会性の高い内容を理解することができる。(各技能の Can・Do リストについては TSEEGs 到達目標表を参照)

《 評価の観点と方法について 》

定期考査は7割以上、平常点は3割以下として総合判断する。

平常点は、授業中の取り組み方、英単語帳「ユメタン」の小テストの成績、提出課題の内容等、授業態度等を総合的に判断して決定する。

	月	学習単元・項目	Reading		Listening		
			ねらい	具体的な方法・活動例	ねらい	具体的な方法・活動例	
一 学 期	4	Lesson 1	言い換え表現を用いて、正しい文を書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読活動 (内容理解、語彙の定着)</li> <li>時間制限を課した Task Reading</li> <li>「ねらい」習得のための練習として他の英文を読む。</li> </ul>	教科書で扱った事柄と類似の内容のまとまった分量の英語について、内容の状況や話し手の意図を理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各課音声CDを活用しディクテーションやリスニング練習問題に取り組む。</li> <li>Hyper Listening L1-L5</li> <li>「ユメタン」テスト</li> </ul>	
		Lesson 2	追加・列挙を表す表現を使って、自分の意見を発表				
	5	Lesson 3	例示の表現を使って、本文内容を簡潔にまとめられる。				
			中間考査				
			Lesson 4	討論でよく使う表現を討論の中で適切に使える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読活動 (内容理解、語彙の定着)</li> <li>時間制限を課した Task Reading</li> <li>「ねらい」習得のための練習として他の英文を読む。</li> </ul>	教科書で扱った事柄と類似の内容のまとまった分量の英語について、内容の状況や話し手の意図を理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各課音声CDを活用しディクテーションやリスニング練習問題に取り組む。</li> <li>Hyper Listening L6-L10</li> <li>「ユメタン」テスト</li> </ul>
	6	Lesson 5	時間的順序を表す表現をさせる。				
		Lesson 6	因果関係を表す表現をさせる。				
	7	Lesson 7	ウェブサイトの文章形式を理解し、必要な情報を読み取る。				
		期末考査					

月	学習単元・項目	Reading		Listening		
		ねらい	具体的な方法・活動	ねらい	具体的な方法・活動	
二 学 期	9	Lesson 13	新聞記事特有の表現を理解し、表現できる。	・音読活動（内容理解、語彙の定着） ・時間制限を課した Task Reading	教科書で扱った事柄と類似の内容のまとまった分量の英語について、内容の状況や話し手の意図を理解できる。	・各課音声CDを活用しディクテーションやリスニング練習問題に取り組む。
		Lesson 14	英文の構成・各パラグラフが果たす役割を理解できる。	・読解の練習として初見の英文を読む。		・Hyper Listening L 11- L 15
		Lesson 15	英文の構成・各パラグラフが果たす役割を理解できる。			・「ユメタン」テスト
	10	Lesson 16	パンフレットから、必要な情報を読み取る。			
		Lesson 17 Part 1,2	より長い英文（社会的内容を含むもの：コミュニケーション・情報社会/ 心理・人生）の要点をつかみながら読める。	・音読活動（内容理解、語彙の定着） ・時間制限を課した Task Reading ・読解の練習として初見の英文を読む。	教科書で扱った事柄と類似の内容のまとまった分量の英語について、内容の状況や話し手の意図を理解できる。	・各課音声CDを活用しディクテーションやリスニング練習問題に取り組む。
		Lesson 18 Part 1,2				・Hyper Listening L 16- L 20
	11	中間考査				・「ユメタン」テスト
		Lesson 19 Part 1,2				
	12	Lesson 20 Part 1,2				
		Lesson 21 Part 1,2				
		Lesson 22 Part 1,2				
		Lesson 23 Part 1,2				
	Lesson 24 Part 1,2					
	期末考査					
三 学 期	1	Lesson 25 Part 1,2	内容が正確に読み取れているかを確認する。	・音読活動（内容理解、語彙の定着） ・時間制限を課した Task Reading ・読解の練習として初見の英文を読む。	教科書で扱った事柄と類似の内容のまとまった分量の英語について、内容の状況や話し手の意図を理解できる。	・各課音声CDを活用しディクテーションやリスニング練習問題に取り組む。
		学年末考査				・Hyper Listening 総復習 ・「ユメタン」テスト

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

授業の復習を大切にしてください。本文に出てきた語彙や文法をしっかりと理解して長文を読む力をつけましょう。また、語彙力なくして英文は読めません、ユメタンの小テストは1週間前から準備し、万全の態勢で受けてください。みなさんの日々の努力による向上を期待しています。最善を尽くしサポートさせていただきます。夢実現に向けて、お互いに、たゆまぬ努力を続けましょう。特にB型では、教科書の内容に加えて、共通テストの英文読解のための能力を、さらに高めるために初見問題演習も行います。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
コミュニケーション英語Ⅲ	4	3年・2類・文理型	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
	SKILLFUL (啓林館) Change the World(Approach) (いっずな書店)		共通テスト対策リスニング (啓林館)

<p>科目の到達目標</p> <p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。</p>
--

<p>評価の観点と方法について</p> <p>定期考査70%以上。平常点としては、単語・構文の小テストの点数、音読や暗唱の努力状況、予習や授業中の態度を考慮して30%以内とする。</p>
---

	月	学習単元・項目	Reading		Listening	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
一 学 期	4	Unit 01 生き方	input した英文を intake することを目指す。内容を理解した英文をしっかりと暗記していくことで、output できる表現を増やしていく。	予習の段階において、本文を読みながら、分からない単語を減らす努力を行う。入試を意識し、すぐに調べるのではなく、英文を読み切って類推する体力を身につける。授業中は、問題の解説、本文の重要構文を中心に進める。その後音読練習で本文の暗記を目指す。	共通テストの大問1・2で得点できるように演習を行う。	英語の音に慣れることを目指し、単語から短い文のディクテーションを目指す。
		Unit 02 物語				
		Unit 03 技術				
		Unit 04 歴史				
	5	Unit 05 環境				
		Unit 06 伝記				
		中間テスト				
	6	Unit 07 文化				
		Unit 08 ビジネス				
		Unit 09 行動科学				
		Unit 10 科学技術				
		Unit 11 風俗				
		Unit 12 人間・性質				
7	Unit 13 動物					
	期末テスト					

	月	学習単元・項目	Reading		Listening	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
二 学 期	9	共通テスト演習		入試問題演習・ 共通テスト演習を 行っていく。	長い英文のリスニング 問題に慣れることを目 標とする。	授業時間内に行えない 部分においては、問題 集の進め方を的確に指 示する。  模試の過去問など、実 践問題の演習を行う。
	10	中間テスト				
	11	共通テスト演習				
	12	期末テスト				
三 学 期	1	共通テスト演習	共通テストのリー ディングにおい て7割取れる ことを目標とす る。	共通テストのリスニ ングにおいて7割取 れることを目標と する。		
	2					
	3					
<p>その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）</p> <p>共通テストレベルよりもやや難しい英文を読み、それに慣れることが大事です。</p> <p>まず1，2回読み、大意を捉える。設問に目をとおして答を探しながら読む。そして精読、不明な単語を調べながら覚える。キーとなる段落や文を暗記する。時間をかければかけるほど、結果が明らかに現れるのが英語です。最後まで頑張りましょう。</p>						

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
Communication 英語 II	2	3年Ⅲ類	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
	World Trek English Communication II	World Trek English Communication II 学習ノート ユメタン0、Hyper Listening 4th Edition Elementary	

科目の到達目標
<b>【Reading】</b> 社会性の高い分野の文章を理解することができる。
<b>【Listening】</b> 社会性の高い内容を理解することができる。
<b>【Writing】</b> 日常生活の話題や社会性のある話題についてある程度まとまりのある文章を書くことができる。
<b>【Speaking】</b> 社会性の高い話題について説明することや、自分の意見を述べたりすることができる。

評価の観点と方法について
定期考査・小テスト・パフォーマンステスト・授業態度・宿題の提出等に基づいて、総合的に判断する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	リスニング	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	Lesson 1 What Happens in Your Country in April?	・さまざまな国や地域の4月の様子を読み、世界に目を向ける。 ・英語でコミュニケーションを取る意義について考える。	Hyper Listening Lesson 1~5	・新出単語確認 ・小テスト ・音読活動
	5	中間考査  Lesson 3 Dear Juliet	・「ロミオとジュリエット」の主人公、ジュリエットに中てた世界中からの手紙が国や文化を超えた共通の支えであることを理解する。 ・手紙の書き方を学ぶ。	Hyper Listening Lesson 6~10	・内容確認問題の演習 ・パフォーマンステスト など
	6	Lesson 4 Nebuta, the Soul of Aomori	・日本の伝統文化である、「青森ねぶた祭」について知る。		
	7	期末考査  夏期課題 Lesson 2 Aquariums	・水族館での展示の工夫や、楽しみ方について知る。	夏期課題 Hyper Listening ディクテーショ ンノート Lesson 1~10	
		Lesson 7 The Origins of Halloween	・ハロウィーンの起源や伝播などについて学習し、異文化への関心を高める。		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	リスニング	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	Lesson 5 Changing Things, Changing Lives	・南米パラグアイの貧民層の子供たちが、どのようなきっかけで人生に夢を持つようになっていったかについて読む。	Hyper Listening Lesson 11~15	・新出単語確認 ・小テスト ・音読活動
	10	中間考査			・内容確認問題の演習
	11	Lesson 6 Racing toward Your Dreams	・プロレーサーの井原慶子さんについて、その生き様から夢に向かって努力を重ねることの大切さを理解させる。	Hyper Listening Lesson 16~20	・パフォーマンステスト など
		Lesson 9 Part1,2 Snowflake Bentley	・バーモント州ジェリコの農場のウィリーの雪の結晶にささげた人生について学習する。		
	12	期末テスト			
		冬期課題 Lesson 8 Helping People through Robots	・古田貴之さんについての文章を読み、夢の実現に向けて努力することの大切さや、仲間とのチームワークの大切さを理解する。	冬期課題 Hyper Listening ディクテーション ノート Lesson 11~20	
	Lesson 10 <i>Ukiyoe</i> and the Impressionists	・日本の大衆文化であった浮世絵が、ヨーロッパの絵画芸術に多大な影響を与えたことを知る。			
三 学 期	1	Lesson 9 Part 3,4 Snowflake Bentley	・バーモント州ジェリコの農場のウィリーの雪の結晶にささげた人生について学習する。		・新出単語確認 ・小テスト ・音読活動
	2	学年末考査			・内容確認問題の演習 ・パフォーマンステスト など

### その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

本授業では、入試形態の変化に対応し、毎授業でリスニングを、課題でディクテーションを行います。日々の授業を大切に受け、わからない箇所はすぐに解決するようにしましょう。

英語の成績は直前の追い込みだけでは絶対に上がりません。そして英語は必ず「暗記」を必要とします。こつこつと積み上げていかなければ、何もしていないのに急に力が着くということは絶対ありません。毎回の授業をはじめ、単語テストや提出物などにもしっかり取り組みましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語表現Ⅱ	3	3年Ⅰ類 A・C型	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	EMPOWER ENGLISH EXPRESSION II		Workbook II / Next Stage / New Frame 650

<b>科目の到達目標</b>	英語表現Ⅱでは英語4技能の内、WritingとSpeakingを重点的に扱う。
Writing :	日常生活の身近な話題について、自分の考えや意見を書くことができる。(「食事と健康など」)
Speaking :	社会性の高い話題について説明することや、自分の意見を述べたりすることができる。
(各技能のCan-DoリストについてはTSEEGs到達目標表を参照)	

定期考査は8割以上、平常点は2割以下として総合判断する。平常点は、授業中の取り組み方、単元毎の小テストの成績、提出課題の内容等を総合的に判断して決定する。また、英語による表現活動として、授業中のペア・グループ等による活動や発表も評価に入れる。文法・語彙問題集の小テストを行い、その理解の程度も評価に入るので、しっかり取り組んでもらいたい。
---

	月	学習単元・項目	学習の目標	Writing / Speaking	評価のポイント
				・具体的な学習内容と方法	
一 学 期	4	Lesson 13	作品の紹介文を書く	関係代名詞／関係副詞	<b>1 授業参加</b> 積極的に活動に参加しているか。 宿題や課題にしっかり取り組んでいるか。小テスト等にしっかりと取り組んでいるか。 <b>2 コミュニケーションへの関心・意欲・態度</b> コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 <b>3 表現の能力</b> 事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。 <b>4 理解の能力</b> 英語を聞いたり、英文を読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 <b>5 言語や文化についての知識・理解</b> 語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
		Lesson 14	地域の紹介文を書く	前置詞と関係代名詞／関係詞の非制限用法	
		Review Exercise 3	Lesson10～14の復習		
	5	Lesson 15	思い出深い体験を書く	不定詞（副詞的用法）／分詞構文	
		Lesson 16	新聞に投書する	副詞節①／副詞節②	
		《中間考査》			
	6	Lesson 17	自分の意見を書く	否定語／部分否定	
		Lesson 18	広告文を書く	比較① 原級/比較級/比較② 最上級	
		Lesson 19	ウェブサイトの記事を書く	原級を用いた表現／比較級・最上級を用いた表現	
		Lesson 20	アドバイスを求めるメールを書く	仮定法過去(過去完了)／仮定法を使った表現	
Review Exercise 4		Lesson15～20の復習			
7					

	月	学習単元・項目	学習の目標	Writing / Speaking	
				具体的な学習内容と方法	
二 学 期	9	New Frame 650			
		STEP1 時制	・既習の項目の中で理解できていないところや弱点を把握し、克服に努める。	・わからないところは、総合英語 EMPOWER や Next Stage を用いて、理解に努める	
		STEP2 態			
		STEP3 助動詞	・英検 2 級の問題に対応できる力をつける。	・間違えた問題をチェックし、徹底して復習する。	
	10	《中間考査》			
		STEP4 不定詞と動名詞			
	11	STEP5 不定詞			
	STEP6 動名詞				
		STEP7 分詞			
	12	《期末考査》			
三 学 期	1	STEP9 イディオム STEP11 比較			
	2	《学年末考査》			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

外国語の学習過程を研究する「第2言語習得」の研究分野では、文法をしっかりと学習することが、言語に対する意識を高め、学習している言語の使用について最終到達点を押し上げるという報告もあります。あくまでも、目的ではなく手段としての文法学習ですが、しっかりと学んで堅牢な英語の土台を築いてください。

スポーツでは地道な基礎練習を怠っては良いプレーはできません。一つの技を身につけるために徹底的な反復練習が必要であることは周知のことです。英語の学習においても、同様です。英語の苦手な部分をしっかりと自分で復習し、新しく習う範囲は日々の予習、復習を欠かさない。また、副教材の参考書で常に知識を広げることが重要です。英語は必ず「暗記」を必要とします。こつこつと積み上げていかなければ、何もしていないのに急に力が着くということはありません。日々の努力を期待しています。



科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語表現Ⅱ	2	3年Ⅰ類 B型	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
	EMPOWER ENGLISH EXPRESSION II		Workbook II / Next Stage / New Frame 650

<b>科目の到達目標</b>	英語表現Ⅱでは英語4技能の内、WritingとSpeakingを重点的に扱う。
Writing :	日常生活の身近な話題について、自分の考えや意見を書くことができる。(「食事と健康など」)
Speaking :	社会性の高い話題について説明することや、自分の意見を述べたりすることができる。
(各技能のCan-DoリストについてはTSEEGs到達目標表を参照)	

定期考査は8割以上、平常点は2割以下として総合判断する。平常点は、授業中の取り組み方、単元毎の小テストの成績、提出課題の内容等を総合的に判断して決定する。また、英語による表現活動として、授業中のペア・グループ等による活動や発表も評価に入れる。文法・語彙問題集の小テストを行い、その理解の程度も評価に入るので、しっかり取り組んでもらいたい。
---

	月	学習単元・項目	学習の目標	Writing / Speaking	評価のポイント
				・具体的な学習内容と方法	
一 学 期	4	Lesson 13	作品の紹介文を書く	関係代名詞／関係副詞	<b>1 授業参加</b> 積極的に活動に参加しているか。 宿題や課題にしっかり取り組んでいるか。小テスト等にしっかりと取り組んでいるか。 <b>2 コミュニケーションへの関心・意欲・態度</b> コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 <b>3 表現の能力</b> 事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。 <b>4 理解の能力</b> 英語を聞いたり、英文を読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 <b>5 言語や文化についての知識・理解</b> 語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
		Lesson 14	地域の紹介文を書く	前置詞と関係代名詞／関係詞の非制限用法	
		Review Exercise 3	Lesson10～14の復習		
	5	Lesson 15	思い出深い体験を書く	不定詞（副詞的用法）／分詞構文	
		Lesson 16	新聞に投書する	副詞節①／副詞節②	
		《中間考査》			
	6	Lesson 17	自分の意見を書く	否定語／部分否定	
		Lesson 18	広告文を書く	比較① 原級/比較級/比較② 最上級	
		Lesson 19	ウェブサイトの記事を書く	原級を用いた表現／比較級・最上級を用いた表現	
		Lesson 20	アドバイスを求めるメールを書く	仮定法過去(過去完了)／仮定法を使った表現	
		Review Exercise 4	Lesson15～20の復習		
	7				

	月	学習単元・項目	学習の目標	Writing / Speaking		
				具体的な学習内容と方法		
二 学 期	9	New Frame 650				
		STEP1 時制	・既習の項目の中で理解できていないところや弱点を把握し、克服に努める。	・わからないところは、総合英語 EMPOWER や Next Stage を用いて、理解に努める	・間違えた問題をチェックし、徹底して復習する。	
		STEP2 態				
		STEP3 助動詞				
		10	《中間考査》	・英検 2 級の問題に対応できる力をつける。		
			STEP4 不定詞と動名詞			
		11	STEP5 不定詞			
		STEP6 動名詞				
		STEP7 分詞				
	12	《期末考査》				
三 学 期	1	STEP9 イディオム STEP11 比較				
	2	《学年末考査》				

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

外国語の学習過程を研究する「第2言語習得」の研究分野では、文法をしっかり学習することが、言語に対する意識を高め、学習している言語の使用について最終到達点を押し上げるという報告もあります。あくまでも、目的ではなく手段としての文法学習ですが、しっかり学んで堅牢な英語の土台を築いてください。

スポーツでは地道な基礎練習を怠っては良いプレーはできません。一つの技を身につけるために徹底的な反復練習が必要であることは周知のことです。英語の学習においても、同様です。英語の苦手な部分をしっかり自分で復習し、新しく習う範囲は日々の予習、復習を欠かさない。また、副教材の参考書で常に知識を広げることが重要です。英語は必ず「暗記」を必要とします。こつこつと積み上げていかなければ、何もしていないのに急に力が着くということはありません。日々の努力を期待しています。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語表現Ⅱ	2	3年・2類 文理型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
	UPGRADE 英文法・語法問題完全演習 <標準編> (数研出版) Vision Quest II Ace	三訂版アップグレード英文法・語法問題 (数研出版)	

科目の到達目標
英語を理解するうえで必要不可欠な既習の文法・語法を復習確認し、共通テストや私大入試の文法・語法さらには語整序・英作問題に十分対応できる力をつけるために反復練習を行う。

評価の観点と方法について
定期考査は70%以上、平常点は30%以下として評価する。 平常点は、小テスト、宿題・提出課題の内容、学習態度等に基づいて算出する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	<2年次からの続き> ・数量表現 ・形容詞の語法 ・形容詞、副詞の語法 ・多義語	既習の項目の中で理解できていないところや弱点を把握し、克服に努める。	それぞれの項目の問題を解く前と後に、アップグレードを用いて、基本事項を確認・復習をする。	各単元・項目がどれくらい理解できているかをチェックする。
	5	・文をつなぐ語句 ・重要語彙の整理 ・ランダム演習	共通テストレベルの問題に対応できる力をつける。	間違えた問題をチェックし、徹底して復習する。	授業に集中しているか、積極的に参加しているかをチェックする。
	6	中間考査 ・ランダム演習 ・共通テスト対策			
	7	期末考査			

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	共通テスト・私立大学 過去問演習			
	10				
		中間考査			
	11	共通テスト・私立大学 過去問演習			
	12	期末考査			
三 学 期	1	過去問演習	共通テスト7割取れるこ とを目標とする。		
	2				
	3				

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

入試問題の中で、正答率が50%の問題があったら、皆さんはどのように思いますか。2人に1人が解ける問題なので、何とか正解したいと思いませんか。実は、入試問題では、正答率50%の問題を落とさないことが非常に大切になってきます。そのレベルの問題を確実におさえていくことが、合格への近道となります。地道な学習を粘り強く頑張ってください。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語演習	3	3年 1類 B型	選択
授業担当者	教科書名	副教材等	
	DREAMCATCHER 基本・標準編 ( いいずな書店 )	共通テスト対策 プリントなど	

<p>科目の到達目標</p> <p>演習問題を解答することによって、共通テストを解くための英語力定着を図る。</p>
--

<p>評価の観点と方法について</p> <p>課題提出、定期考査の点数を総合して評価する。</p>
---

	月	学習单元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4	〈基本編〉 Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寓話の最後の「教訓」</li> <li>・英文では、文説明はあと</li> <li>・代名詞の指すもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・so ... that ～「とても・・・なので、～」</li> <li>・関係代名詞節</li> <li>・it や they などの代名詞が指すもの</li> </ul>	英文を読んで、その情報を的確に捉えようとしているか。
	5	Lesson 4 Lesson 5  Lesson 6 Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セミコロン</li> <li>・時間の流れ</li> <li>・this が文を指すもの</li> <li>・時間描写や場面</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セミコロン ( ; )</li> <li>・英文はたいてい時間の流れに沿って展開されているので年号を手がかりにする</li> <li>・前後の文から文脈を理解する</li> <li>・物語文の展開は「起承転結」が基本</li> </ul>	板書事項をしっかりとノートに写せているか。
	6	Lesson 8 中間考査  Lesson 9 Lesson 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感情が込められている語句</li> <li>・原因・理由は主張のあと</li> <li>・結果を表す接続詞の前の原因・理由</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・only などの感情が込められている語句に注目する</li> <li>・〈 a + 名詞 〉 〈 the + 名詞 〉 に注目</li> <li>・so 「だから」は、あとに「結果」が続くなど接続詞の働きを確認する</li> </ul>	能動的に授業に取り組んでいるか。
	7	Lesson 11 Lesson 12  Lesson 13 Lesson 14  Lesson 15 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段落のトピック</li> <li>・文や単語の持つイメージ</li> <li>・具体例は主張の根拠</li> <li>・主張や事実→原因や理由の展開</li> <li>・段落最初のつなぎ語句</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示語 〈 that 〉 の内容は前</li> <li>・強調構文</li> <li>・具体例を探す</li> <li>・理由は、あとから述べられることが多い</li> <li>・つなぎの語句</li> </ul>	課題プリント等を提出しているか。

	月		学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント	
二 学 期	9	〈標準編〉 Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3  Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会話の相手の発言に注目</li> <li>・具体例中の対比に注目</li> <li>・具体的な説明を問われたら、続く部分に目を向ける</li> <li>・英文の空所は前後に注目</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係代名詞</li> <li>・対比</li> <li>・指示語</li> <li>・受動態</li> <li>・結果を導く表現</li> </ul>	<p>文を読んで、その情報を的確に捉えようとしているか。</p> <p>板書事項をしっかりとノートに写せているか。</p>	
	10	Lesson 5 Lesson 6  中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・列挙</li> <li>・気持ちの変化を読み取る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・another 「もう1つの」</li> <li>・形式主語</li> </ul>	<p>能動的に授業に取り組んでいるか。</p>	
		Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文の並べかえ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代名詞 ・get + 比較級</li> </ul>	<p>課題プリント等を提出しているか。</p>	
		Lesson 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無生物主語の訳の仕方</li> </ul>		
	11	Lesson 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キーワード</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的格の関係代名詞の省略</li> </ul>		
		Lesson 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝記</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・tell O to do 「Oに～するように言う」</li> </ul>		
		Lesson 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続詞のso</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・if not 「もしそうでなければ」 ・使役法</li> </ul>		
		Lesson 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主張→具体例→主張</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省略されている語を見抜く</li> </ul>		
	12	期末考査				
	三 学 期	1	Lesson 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心となる動詞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示語</li> <li>・as の書き換え</li> </ul>	<p>英文を読んで、その情報を的確に捉えようとしているか。</p> <p>板書事項をしっかりとノートに写せているか。</p>
			Lesson 14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段落の要旨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段落の要旨を考える</li> </ul>	<p>能動的に授業に取り組んでいるか。</p>
			Lesson 15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原因・理由</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「多い」「少ない」を表す large / small</li> </ul>	
2		学年末考査			<p>課題プリント等を提出しているか。</p>	
	3					

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

各受講生の志望大学合格に向けて、実際の大学入試過去問題の演習を通して、集大成となる英語力を培えるよう、最善を尽くしサポートさせていただきます。夢実現に向けて、お互いに、たゆまぬ努力を続けましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語演習	2	3年 1類 C型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
	Step by Step 2, 3 (三省堂)	英検問題集、その他ハンドアウト	

科目の到達目標
TSEEGs の English for “The World” 発展（2級以上）段階の定着。英語演習では英語4技能を総合的に扱う。
Reading：社会性の高い分野の文章を理解することができる。
Listening：社会性の高い内容を理解することができる。
Writing：日常生活の話題や社会性のある話題についてある程度まとまりのある文章を書くことができる。
Speaking：社会性の高い話題について説明することや、自分の意見を述べたりすることができる。
英検やGTECの過去問題を演習することによって、受験に対応できる文法・語法・イディオム・会話表現の定着を図る。

評価の観点と方法について
各表現が使用できる程度にあるかという観点から評価を行う。中間、期末の定期考査に加え、単語や重要表現の小テスト、ライティング課題、休暇明けなどの課題テストの成績と各種課題の提出状況、プレゼンテーションや英語活用に関するパフォーマンステストおよび授業への参加状況を平常点として算出する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法		評価のポイント
一 学 期	4	1分間トーク (毎授業)		〈資格試験〉	〈行事〉	① 授業への取り組み ② パフォーマンステスト ③ 課題の提出 ④ 小テスト・定期考査 ⑤ 授業中に英語を使う努力をしているか
	5	暗唱	覚えた英語を正しい発音で、流暢に読むことができる。	英検2級の練習問題 ライティング課題		
		ディベート		Step by Step2 (Unit1~6)		
	6	中間考査	日常生活の身近な話題について、自分の考えや意見を書き、プレゼンテーションできる。	英検 (第1回)		
		ディベート				
	7	ペアアクティング	覚えた英語に自分の感情を乗せて表現できる。		2・3年生 英語交流会	
		暗唱 歌	覚えた英語を正しい発音で、流暢に読むことができる。			
	7	期末考査				





科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語演習	3	3年・2類・文型	選択
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	Scramble (旺文社)・Interactive 4 skills (旺文社)		プリント等

<b>科目の到達目標</b>
英語の歌やスピーチを通してリスニング・発音・翻訳などの能力を養う。
ALTの授業では主にスピーチ活動に取り組みながら、ListeningやSpeakingの活動を取り入れることにより、実践的な英語力を身に付けさせる。

<b>評価の観点と方法について</b>
定期考査と平常点（小テスト、課題への取り組み状況、授業態度等）を加味して総合的に判断する。
定期考査はプリントの内容を中心とする。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	Song 1 Speech 1 Interview 1	<b>【歌やスピーチ】</b> ・英語らしいリズムやイントネーションなどを身に付け、実際に自分で表現する力を養成する。	ペアワーク 和文和訳からの英訳 ストーリーテリング
	5	<中間考査>	<b>【Team Teaching】</b> ・失敗を恐れずに英語を発話する姿勢を身に付ける。 ・英検の二次テストをイメージした面接の基本となる『アイデアをまとめる力』を養成する。	
	6	Song 2, 3 Speech 2, 3 Interview 2, 3		
	7	<期末考査>		
	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法

二 学 期	9	Song 4, 5 Speech 4 Debate 4		
	10	<中間考査> Song 6, 7 Speech 5, 6 Debate 5		
	11			
	12	<期末考査>		
三 学 期	1	入試準備		
	2			
	3			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

この授業では、たくさんの英語の曲を歌ったり、スピーチをしたりしてもらいます。それをするにあたりまずは、何度も何度も繰り返し音源を聴いてもらうことになります。文字を読むのではなく、聴こえた音をそのまま再生するというのがポイントになるので、普段できない活動をたくさん取り入れていく予定です。最終的には、あたかも自分の言葉であるかのように雄弁に英語スピーチをするというところまでもって行っていきます。

また、ALT との授業では英検の面接試験をイメージした取り組みや、ディベートをしていきます。その準備として調べ学習もたくさん入ってきます。大学に入っても生きてくる力なので、先を見据えながら取り組んでもらえたらと思います。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語演習Ⅱ	2	2年3類	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	EMPOWER English Expression I	Workbook プリント	

科目の到達目標
英語表現Ⅱでは、英語の4技能のうち、WritingとSpeakingを重点的に扱う。
Writing：日常生活の身近な話題について、自分の考えや意見を書くことができる。
Speaking：社会性の高い話題について説明することや、自分の意見を述べたりすることができる。
※各技能のCan-Doリストについては、天理学園英語教育ガイドライン (T-SEEGs 到達目標表) を参照。

評価の観点と方法について
定期考査は7割以上、平常点は3割以下として総合判断する。
平常点は、授業中の取り組み方、単元毎の小テストの成績、提出課題の内容等、授業態度等を総合的に判断して決定する。
英語による表現活動として、授業中のペア・グループ等による活動や発表も評価にいれる。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4	EMPOWER I  Unit 9	比較	2つ以上のものを比較して述べる。 原級・比較級・最上級を用いた比較。 さまざまな比較表現。	①授業に積極的に参加しているか。 →授業中の態度とタスクの内容によって評価する。
	5	中間考査			②与えられた課題にしっかり取り組んでいるか。 →ワークの提出によって評価する。
	6	Unit 10	関係詞	関係詞を使って、人や物について説明する。who, which, that, what, 関係副詞、複合関係詞。	③パフォーマンステスト →暗唱テストやスピーチの内容で評価する。
	7	期末テスト			

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	Unit 8	分詞	分詞を使って、「～している」や「～された」という動作・状態を述べる。分詞、分詞構文。	①授業に積極的に参加しているか。 →授業中の態度とタスクの内容によって評価する。
	10	中間 考査			②与えられた課題にしっかり取り組んでいるか。 →ワークの提出によって評価する。
	11	Unit 11	仮定法	仮定法を使って、現在・過去・未来の仮装の状況を述べる。 仮定法過去 仮定法過去完了 wish, as if	③パフォーマンステスト →暗唱テストやスピーチの内容で評価する。
	12	期末 考査			
三 学 期	1	Unit 1 ~ 11	総復習	今まで学習した文法項目のおさらい。	①授業に積極的に参加しているか。 →授業中の態度とタスクの内容によって評価する。
	2	学年末 考査			②与えられた課題にしっかり取り組んでいるか。 →ワークの提出によって評価する。
	3				③パフォーマンステスト →暗唱テストやスピーチの内容で評価する。

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

英語学習を楽しむコツは、できるだけ毎日英語にふれること・コツコツと努力を積み重ねることです。英語を学ぶ方法は、教科書や参考書を使うだけではありません。英語で映画を見る・本を読むなど、さまざまな方法があります。授業で学んだことを実際に使って、学習の成果を体感しましょう。